

2019年8月9日

株式会社三菱UFJ銀行

アユタヤ銀行によるセキュリティバンク子会社への戦略出資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{みけ} ^{かねつぐ} 三毛 兼承、以下 当行）の連結子会社であるタイ王国（以下 タイ）の大手商業銀行 Bank of Ayudhya Public Company Limited（以下 アユタヤ銀行）と当行の持分法適用会社であるフィリピン共和国（以下 フィリピン）の地場主要商業銀行 Security Bank Corporation（以下 セキュリティバンク）は、今般、アユタヤ銀行によるセキュリティバンクの子会社 SB Finance Company, Inc.（以下 エスビーファイナンス）への出資（以下 本出資）を決定いたしました。アユタヤ銀行は、関係当局等の承認を前提として、本年中にエスビーファイナンス株式の50%を取得する予定です。

エスビーファイナンスは、フィリピンにおいて個人向けの無担保ローンを取り扱うコンシューマーファイナンス会社です。アユタヤ銀行は、タイのコンシューマーファイナンス分野における最大の事業者として先進的かつ幅広い知見を有しており、セキュリティバンクとエスビーファイナンスが持つ地場の知見を組み合わせることで、これまで以上に付加価値の高いサービスの提供を目指してまいります。フィリピンは6%を超える高い経済成長率を誇り、今後も持続的な経済成長が見込まれております。また、人口規模やその平均年齢の低さを背景に、コンシューマーファイナンス市場の拡大も期待されております。本出資により、エスビーファイナンスは、同市場における更なる事業の拡大を図ってまいります。

当行は、アユタヤ銀行、セキュリティバンク、連結子会社であるインドネシア共和国の大手商業銀行 PT Bank Danamon Indonesia, Tbk.（バンクダナモン）および持分法適用会社であるベトナム社会主義共和国の大手国営銀行 Vietnam Joint Stock Commercial Bank for Industry and Trade（ヴィエティンバンク）と共に東南アジアのビジネスプラットフォームを構築し、同地域の事業を強化しております。本出資は当行が出資するパートナーバンク間での初の合弁事業であり、今後もお客さまの多様なニーズに対して、先進的かつ質の高いサービスの提供を目指してまいります。

《アユタヤ銀行の概要》

アユタヤ銀行は、タイにおいて70年以上の歴史を有し、同国第5位の資産規模を誇る大手商業銀行です。タイ全国における690を超える独自拠点網および34,000を超える販売代理店網を通して、個人のお客さまから中小・大企業のお客さまに対して、法人業務、消費者金融を含むリテール業務、投資、資産運用等の包括的な総合金融サービスを展開しています。また、アユタヤ銀行およびその子会社は、950万口座を有するタイ国内最大のクレジットカード発行体でもあります。当行は、同行を2013年12月に連結子会社化いたしました。

《セキュリティバンクの概要》

セキュリティバンクは、フィリピンにおいて60年以上の歴史を有し、民間銀行として第6位の資産規模を有する地場主要商業銀行であり、フィリピン全土に303支店を有し、個人のお客さまから中小・大企業のお客さまに対して、法人業務、リテール業務、投資、資産運用等の包括的な金融サービスを展開しています。当行は、2016年4月に同行株式の約20%を取得し、持分法適用会社化いたしました。

以上